

15 小数と整数のかけ算、わり算 ①

名前

ねらい 純小数×整数の乗法の計算の仕方を理解する。

- ① 0.3L入りのジュースを6本買いました。
ジュースは、全部で何Lあるでしょうか。

- ① どんな式を書けばよいでしょうか。〈式〉
② あやのさんとけんじさんが、計算のしかたを説明しています。
□にあてはまる数を書きましょう。

〈あやのさん〉 0.1をもとに考える

$$0.3 \text{ は } 0.1 \text{ の } \square \text{ こぶんだから、 } 0.3 \times 6 = 0.1 \times \square \times \square \\ = 0.1 \times \square$$

$$0.1 \text{ の } \square \text{ こぶんだから、答えは } \square \text{ L}$$

〈けんじさん〉 かけられる数を10倍して考える

$$0.3 \times 6 \text{ の } 0.3 \text{ を } \square \text{ 倍すると} \\ 3 \times 6 \text{ になるので、その答えは } \frac{\square}{\square} \text{ すると} \\ \text{答えは } \square \text{ L になります。}$$

$$\begin{array}{rcl} 0.3 \times 6 & = & \square \\ \downarrow \times 10 & & \uparrow \frac{1}{10} \\ 3 \times 6 & = & \square \end{array}$$

- ② □にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{rcl} \textcircled{1} & 0.4 \times 6 & = \square \\ \downarrow \times 10 & & \uparrow \frac{1}{10} \\ \square \times 6 & = & \square \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \textcircled{2} & 0.7 \times 8 & = \square \\ \downarrow \times 10 & & \uparrow \frac{1}{10} \\ \square \times 8 & = & \square \end{array}$$

15 小数と整数のかけ算、わり算 ②

名前

ねらい 小数×整数の乗法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

① 2.7×8 の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

〈0.1をもとにして〉

$$2.7 \times 8$$

0.1が(□×□)に分

$$0.1 \times (27 \times 8) = 21.6$$

〈かけられる数を10倍して〉

$$2.7 \times 8 = \square$$

$$\begin{array}{c} \downarrow 10\text{倍} \\ \square \times 8 = \square \end{array} \quad \begin{array}{c} \uparrow \frac{1}{10} \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① 4.2×3

		4.	2
	×		3

② 0.9×4

③ 13.6×2

④ 7.9×14

⑤ 6.4×36

⑥ 0.8×47

15 小数と整数のかけ算、わり算 ③

名前

ねらい 小数×整数で、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。

- ① 1 mの重さが1.26kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう8 mの重さは何kgでしょうか。

- ① どんな式になりますか。〈式〉
② たかしさんとゆらんさんが計算のしかたを考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。

〈たかしさん〉

0.01をもとにして考える。

$$1.26 \times 8$$

$$0.01 \times (\square \times \square)$$

$$= \square$$

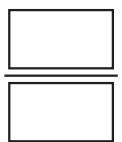
〈ゆらんさん〉

$$1.26 \times 8 = \square$$



100倍

$$\square \times 8 = \square$$



- ② 次の計算を筆算でしましょう。

① 4.28×6

② 3.04×56

③ 0.87×38

15 小数と整数のかけ算、わり算 ④

名前

ねらい

小数×整数で、積の末位が0になる場合や、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の計算ができる。

Ⅰ 次の計算をしましょう。

① 4.6×5

② 1.25×8

③ 3.75×4

④ 0.159×8

⑤ 2.305×4

⑥ 0.025×6

⑦ 0.962×27

⑧ 0.846×38

⑨ 5.375×48

15 小数と整数のかけ算、わり算 ⑤

名前

ねらい 小数÷整数の除法の計算の仕方を理解する。

I 次の①、②の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

① $6.4 \div 2$

〈0.1をもとにして〉

 6.4 は0.1が□こだから、 $6.4 \div 2$ は0.1が(□÷□)こ分。

$$6.4 \div 2 = \square$$

〈わられる数を10倍して〉

$$6.4 \div 2 = \square$$

↓ 10倍

$$\square \div 2 = \square$$

↑ $\frac{1}{10}$

〈64を位ごとに分けて〉

$$6.4 \div 2 \quad 6 \div 2 = \square$$

$$0.4 \div 2 = \square$$

$$3 + 0.2 = \square$$

② $4.8 \div 6$

〈0.1をもとにして〉

 4.8 は0.1が□こだから、 $4.8 \div 6$ は0.1が(□÷□)こ分。

$$4.8 \div 6 = \square$$

〈わられる数を10倍して〉

$$4.8 \div 6 = \square$$

↓ 10倍

$$\square \div 6 = \square$$

↑ $\frac{1}{10}$

15 小数と整数のかけ算、わり算 ⑥

名前

ねらい 小数÷整数の除法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 5 \overline{) 8.5} \\ \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ 7 \overline{) 94.5} \\ \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline \square \square \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 4 \overline{) 12.8} \\ \square \square \\ \hline \square \\ \square \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算を筆算でしましょう。

① $8.4 \div 3$

	)	

② $42.5 \div 5$

	)		

③ $11.9 \div 7$

	)		

15 小数と整数のかけ算、わり算 ⑦

名前

ねらい 小数÷整数で、商が1より小さくなる場合や、除数が2位数の場合の除法の計算ができる。

① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。

また、商には小数点もうちましょう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 9 \overline{) 5.4} \\ \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 3 \overline{) 0.9} \\ \square \\ \hline 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 21 \overline{) 18.9} \\ \square \square \square \\ \hline 0 \end{array}$$

② 次の計算を筆算でしましょう。

① $6.4 \div 8$

		)	

② $4.5 \div 5$

	)	

③ $7.8 \div 13$

		)	

④ $24.3 \div 27$

		)		

⑤ $81.6 \div 24$

		)		

⑥ $179.8 \div 29$

		)			

15 小数と整数のかけ算、わり算 ⑧

名前

ねらい 小数÷整数で、被除数が1/100の位、1/1000の位までの小数の除法の計算ができる。

- ① 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

	□	□	□	□
48	)	3	.	2
		□	□	□
			□	□
			□	□
				0

- ② 次の計算を筆算でしましょう。

① $57.04 \div 23$

		)			

② $7.684 \div 4$

		)			

③ $3.379 \div 31$

		)			

15 小数と整数のかけ算、わり算 ⑨

名前

ねらい

わり進む除法の計算の仕方を理解する。

- Ⅰ 次の計算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 \square \square \square \\
 6 \overline{) 6.30} \\
 \square \\
 \hline
 \square \square \\
 \square \square \\
 \hline
 0
 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r}
 \square \square \square \\
 25 \overline{) 600} \\
 \square \square \\
 \hline
 \square \square \square \\
 \square \square \square \\
 \hline
 0
 \end{array}$$

③ $0.72 \div 15$

④ $2 \div 32$

ねらい わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算の仕方を理解する。

① $5 \div 3$ の計算について、次の問いに答えましょう。

- ① $5 \div 3$ の計算を筆算でしましょう。
- ② 商は^し四^{しゃ}捨^ご五^{にゅう}入して、 $\frac{1}{10}$ ^くの^{らい}位までの^もの^とが^い数^で求^めま^しよ^う。
- ・ 何の位で四捨五入すればよいでしょうか。
 () の位で四捨五入する。
- ・ 答え (約)

3	)	5	

② 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのが^い数^で求^めま^しよ^う。

- ① $8 \div 7$
- ② $7.8 \div 9$
- ③ $30.5 \div 17$

答え (約)

答え (約)

答え (約)

ねらい 小数÷整数の除法のあまりの大きさについて理解する。

① 長さが23.5cmのテープがあります。

このテープを4cmずつ切ると、4cmのテープは何本できて、何cmあまるでしょうか。

① どんな式になるでしょうか。

()

② 商は何の位^{くらい}まで求めればよいでしょうか。

()

③ 筆算をしましょう。

④ 答えを書きましょう。

()本できて、()cmあまる。

4	)	23.5	

② 商は $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりも求めましょう。

① $10.7 \div 7$

② $27.3 \div 15$

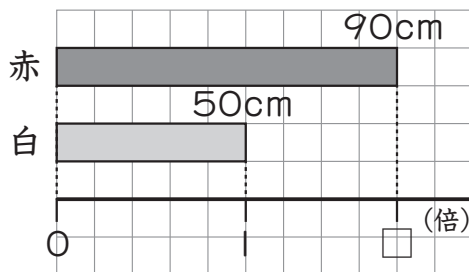
③ $17.7 \div 21$

答え () 答え () 答え ()

ねらい 何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(帯小数倍)

- ① 赤色のテープと白色のテープがあります。
赤色のテープの長さは90cm、白色のテープの長さは50cmです。
赤色のテープの長さは、白色のテープの長さの何倍でしょうか。

- ① 下の図を見て、赤色のテープの長さ90cmと
白色のテープの長さ50cmのどちらを1とみればよいでしょうか。



()

- ② 式に表して答えを求めましょう。

〈式〉

答え

- ② 白いテープが6m、赤いテープが9m、青いテープが12mあります。

- ① 青いテープの長さは、白いテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え

- ② 赤いテープの長さは、白いテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え

ねらい 何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(純小数倍)

- Ⅰ 青いテープと緑のテープがあります。
 青いテープの長さは40cmで、緑のテープの長さは50cmです。
 青いテープの長さは、緑のテープの長さの何倍でしょうか。

- ① 問題の場面を図に表しましょう。



- ② どちらの長さを1とみればよいでしょうか。

()

- ③ 式に表して、答えを求めましょう。

〈式〉

答え _____

- Ⅱ 赤いテープが6m、白いテープが8m、青いテープが10mあります。

- ① 赤いテープの長さは、白いテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え _____

- ② 白いテープの長さは、青いテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え _____

15

学んだことを使おう

名

前

ねらい

身の回りの事象を数理的に捉え、小数と整数の乗法、除法を活用できる場面を見いだすことができる。

- Ⅰ

学校の中から、かけ算やわり算が使える場面を見つけて、問題を作ります。

けんじさんとゆみさんが見つけた場面を使って、問題を作しましょう。

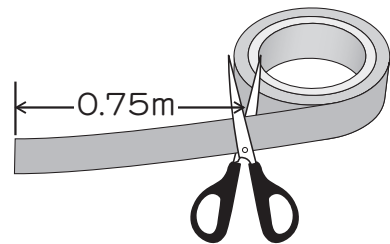
また、求める式と答えも書きましょう。

(けんじさん)

- ・紙テープ1人分の長さ

0.75m
- ・子どもの人数

36人



◆かけ算の問題を作しましょう。

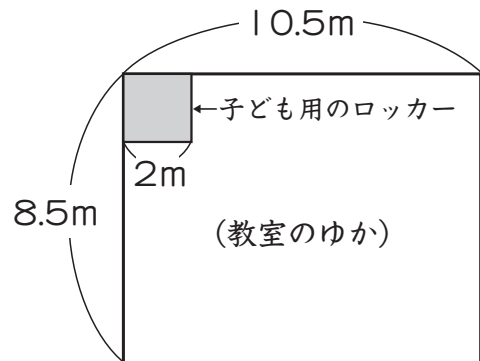
(ゆみさん)

- ・教室のゆかの横の長さ

10.5m
- ・教室のゆかのたての長さ

8.5m
- ・子ども用ロッカー1台の横の長さ

2m

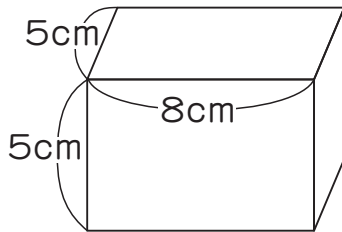


◆わり算の問題を作しましょう。

ねらい 直方体、立方体の意味を理解する。

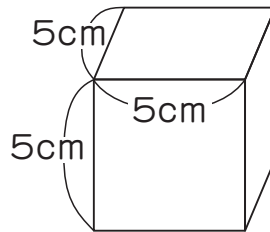
① 次の（ ）の中に立体的な名前を書きましょう。

①



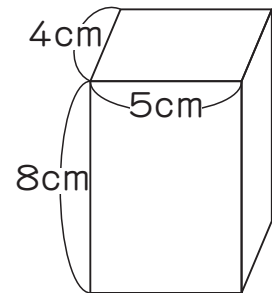
()

②



()

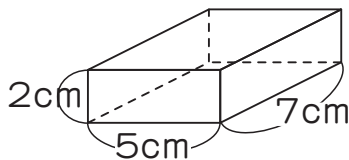
③



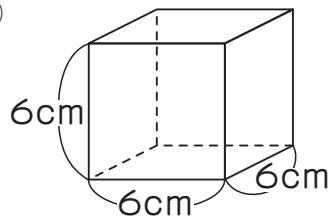
()

② 次の立体を見て、下の①～④にあてはまる立体の記号を書きましょう。

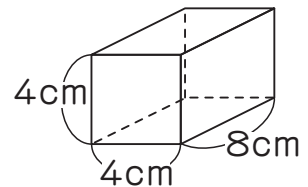
ア



イ



ウ



① 正方形と長方形でかこまれている立体

()

② 正方形だけでかこまれている立体

()

③ 長方形だけでかこまれている立体

()

④ 立方体はどれでしょうか。

()

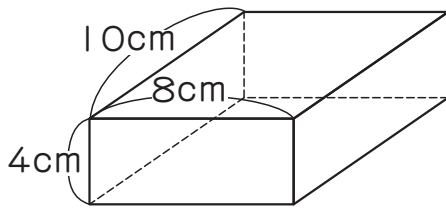
⑤ 直方体はどれでしょうか。

()

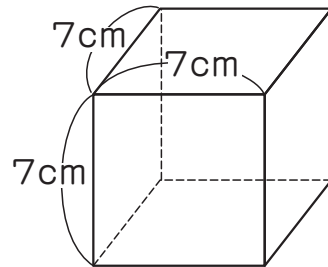
ねらい 直方体、立方体の構成要素（面、頂点、辺）や平面の意味を理解する。

Ⅰ 下のような直方体や立方体について、下の表のあいているところに
あてはまる数を書きましょう。

直方体



立方体



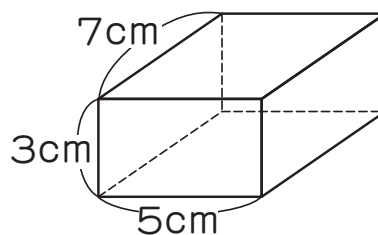
	直方体	立方体
面		
ちようてん 頂 点		
へん 辺		

- ① 上の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。
 4cmの辺（ ）つ 8cmの辺（ ）つ 10cmの辺（ ）つ
- ② 上の立方体には、どんな面の形がいくつあるでしょうか。
 1辺7cmの（ ）の面が、（ ）つある。

Ⅱ 右の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

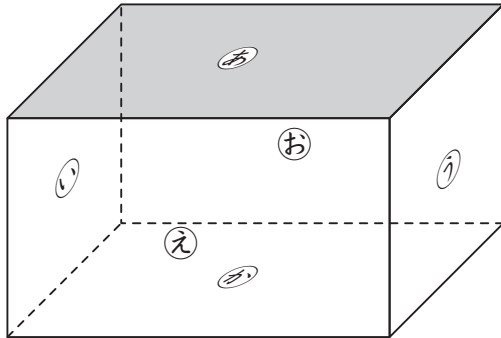
[

]



ねらい 直方体、立方体の面と面の平行や垂直関係を理解する。

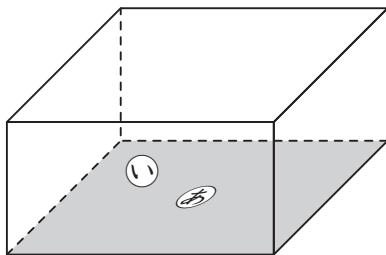
① 下の直方体を見て、答えましょう。



① 上の①の面と平行な面を、えんぴつで色をぬりましょう。

② 横の①の面と平行な面はどれでしょう。
面 ()

② 下の直方体を見て、答えましょう。



① 下の①の面に^{すいちよく}垂直な面は、いくつあるでしょうか。

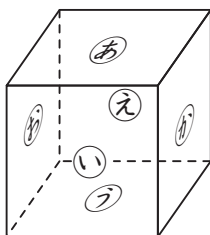
()

② ①の面に平行な面を、えんぴつで色をぬりましょう。

③ 直方体の面のように、平らな面を何というでしょうか。

()

③ 下の立方体で、面①と平行な面と面①と垂直な面を答えましょう。



① 面①と平行な面 ()

② 面①と垂直な面 ()

ねらい 直方体、立方体の面と辺、辺と辺の平行や垂直関係を理解する。

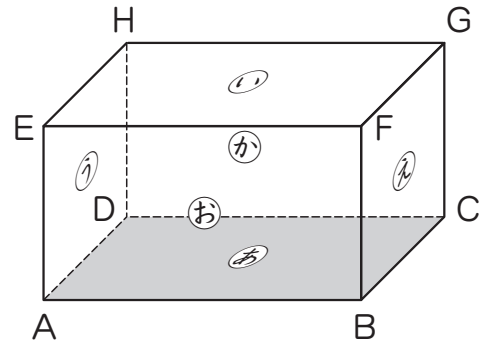
Ⅰ 右の直方体を見て、答えましょう。

① 面㊟と垂直な^{すいちよく へん}辺を書きましょう。

()

② 辺EAと垂直な面を書きましょう。

()



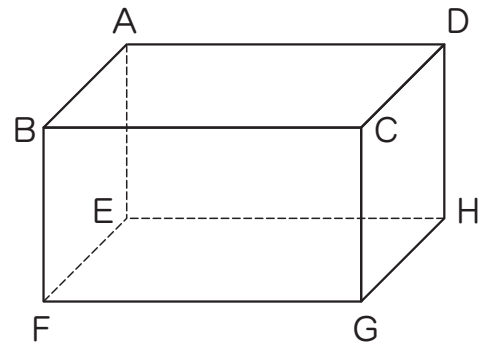
Ⅱ 右の直方体を見て、答えましょう。

① 辺ABと平行な^{へん}辺を書きましょう。

()

② 辺GHと垂直な^{へん}辺を書きましょう。

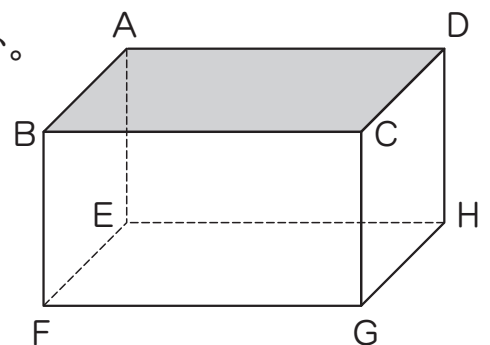
()



Ⅲ 右の直方体を見て、答えましょう。

面ABCDと垂直な面は、いくつあるでしょうか。

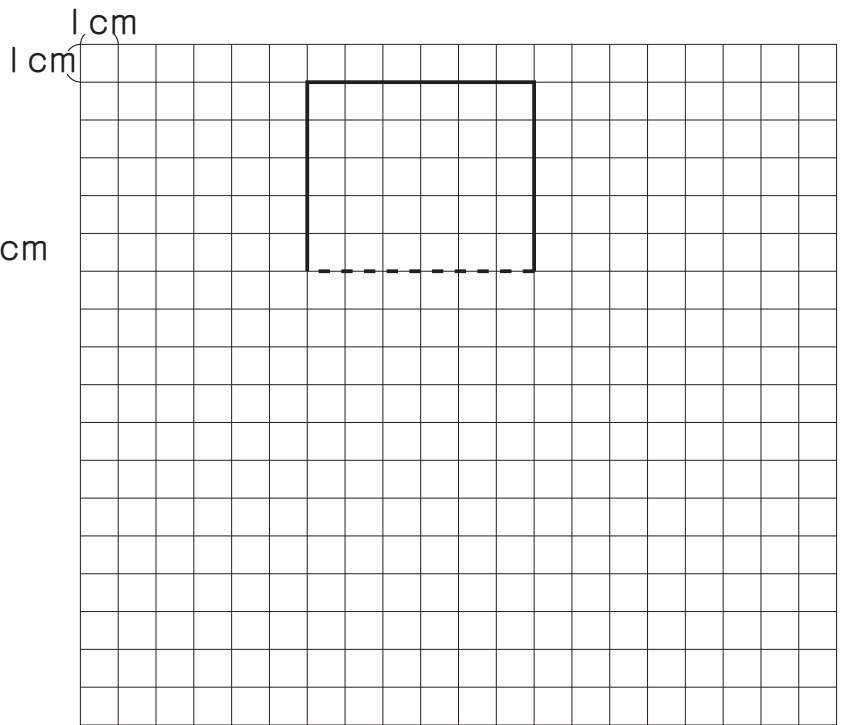
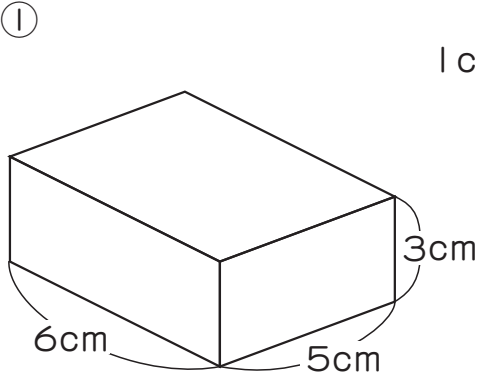
()



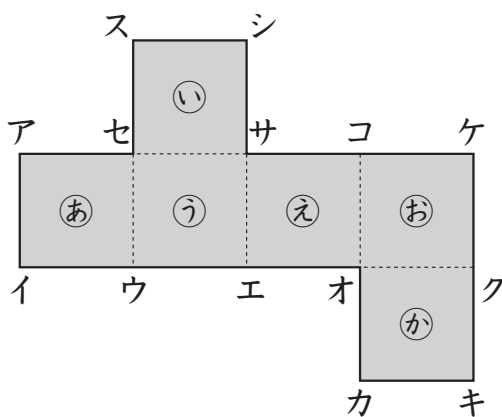
ねらい 展開図の意味を理解し、直方体の展開図をかくことができる。立方体の展開図から構成要素の関係を読み取る。

① 次の直方体の展開図^{てんかいず}をつづけてかきましょう。(1めもりが1cmとします)

①



② 下の展開図を組み立ててできる立方体について、
①から③のことを考えましょう。



① 点アと重なる点

()

② 辺シサと重なる辺

()

③ 面あと平行になる面、^{すいちよく}垂直になる面

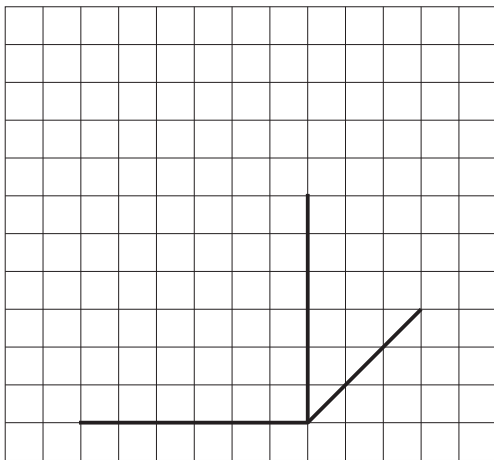
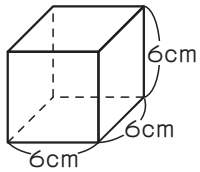
平行：

垂直：

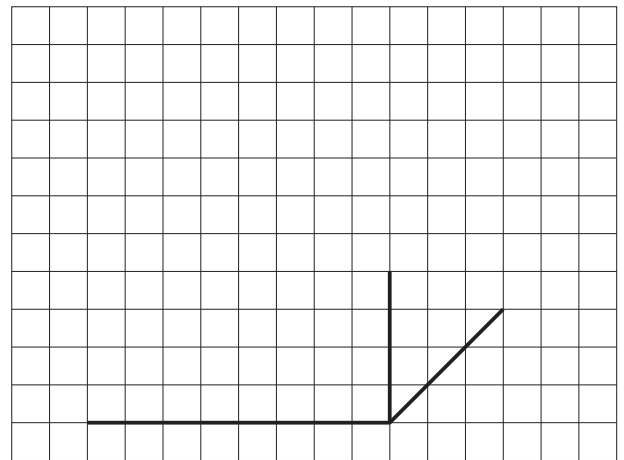
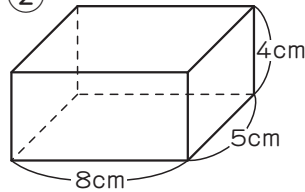
ねらい 見取図の意味を理解し、直方体や立方体の見取図をかくことができる。

Ⅰ 次の立方体や直方体^{みとりず}の見取図をかきましょう。(1めもりが1cmとします)

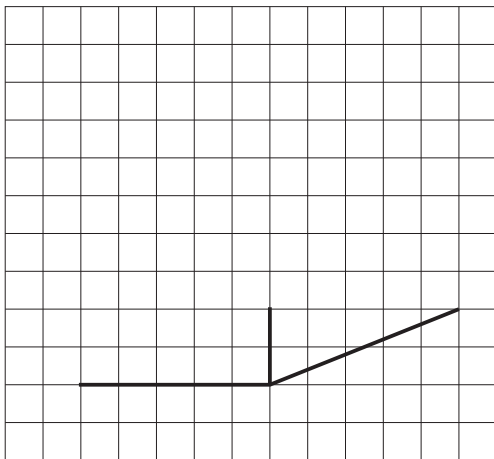
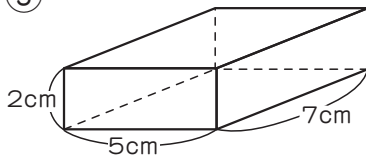
①



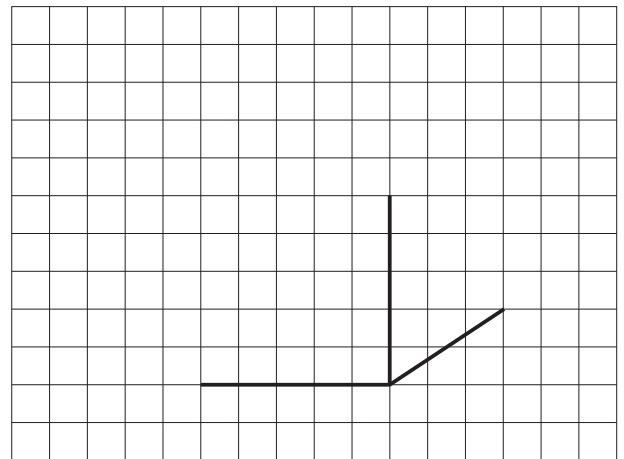
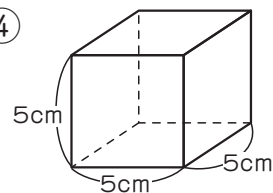
②



③



④

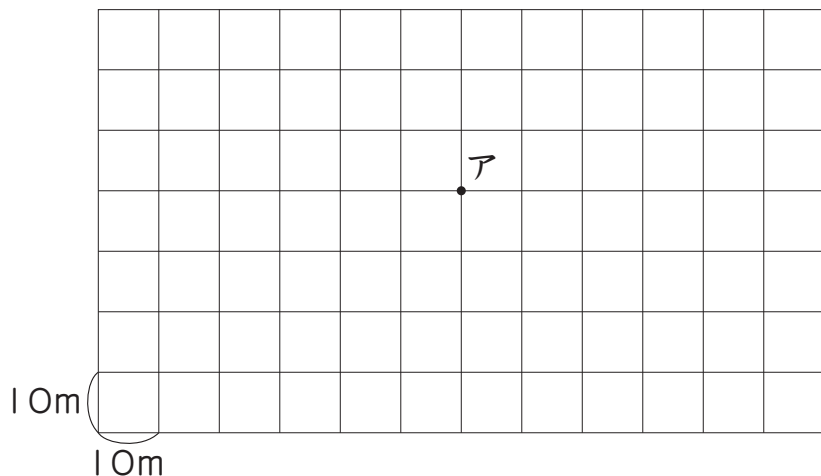


ねらい

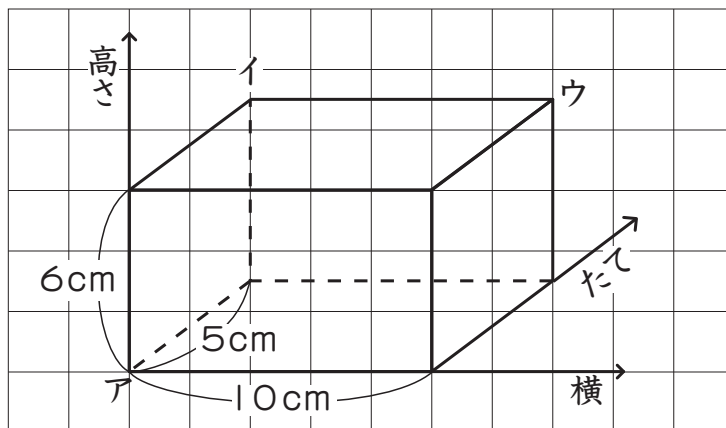
平面上にある点の位置や、空間の中にある点の位置の表し方を理解する。

- ① 下の図に、点アの位置^{いち}をもとにして、点イ、点ウをかき入れましょう。

点イ（東30m、北20m） 点ウ（西40m、南30m）



②



上のような直方体で、頂点ア^{ちやうてん}をもとにすると、頂点イ、ウの位置はどのように表すことができるでしょうか。

点イ（ 横 たて 高さ ）
 点ウ（ 横 たて 高さ ）

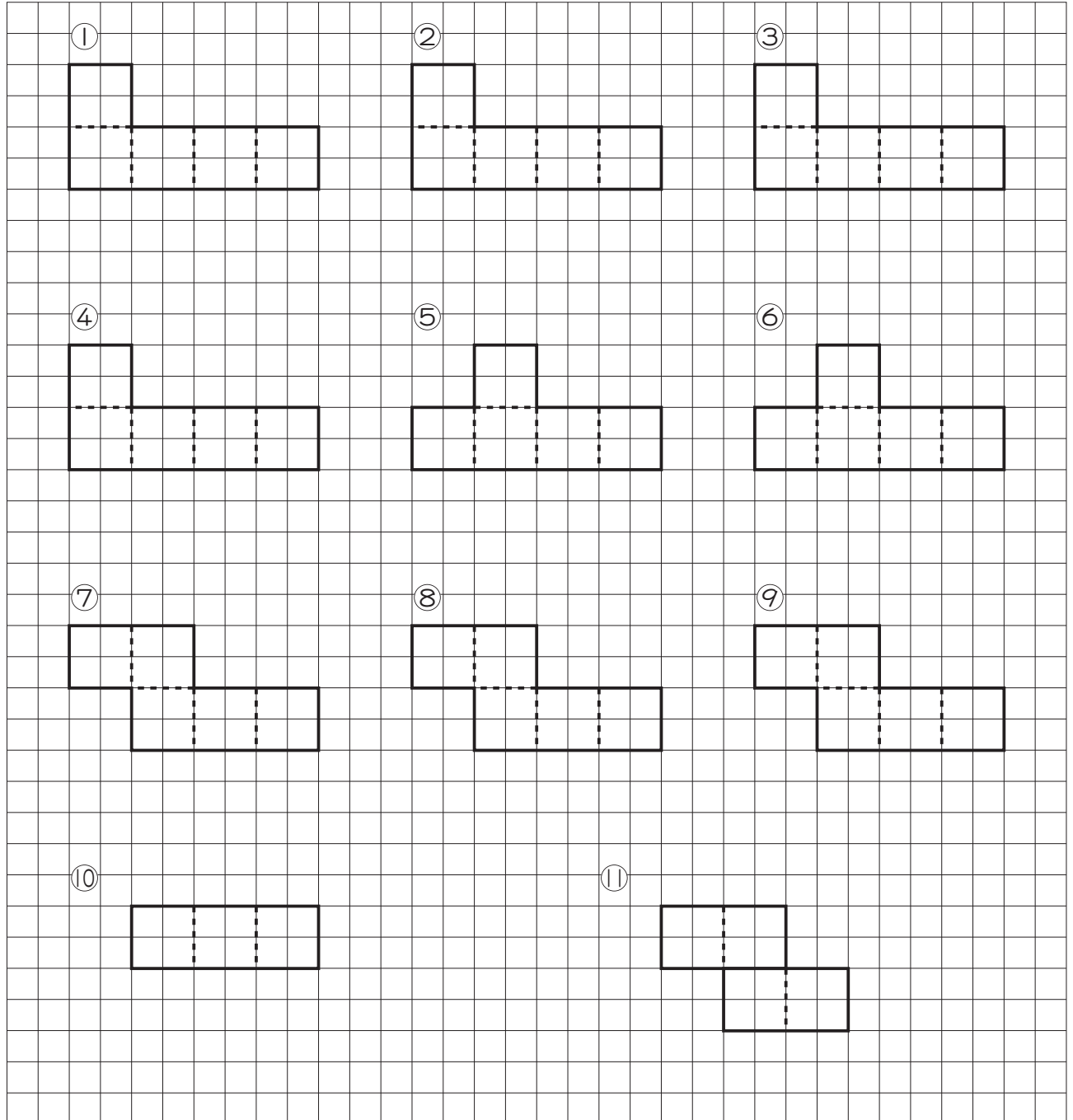
16 学んだことを使おう

名
前

ねらい

ペントミノから立方体の展開図を考え、面と面のつながりや、立体図形と平面図形の関係について理解を深める。

- Ⅰ 立方体の展開図のつづきをかいて、いろいろな展開図を完成させましょう。



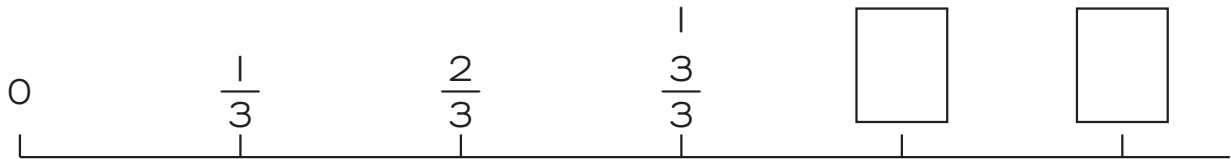
17 分数の大きさとたし算、ひき算 ①

名前

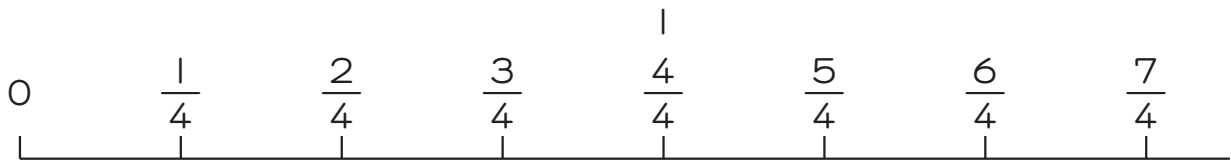
ねらい

1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解する。

- ① $\frac{1}{3}$ の4こ分、5こ分の大きさを分数で表しましょう。



- ② 下の数直線を見て、答えましょう。



- ① $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ のいくつ分の大きさの分数でしょうか。

- ② $\frac{5}{4}$ は1とどんな大きさの分数を合わせたのでしょうか。

- ③ 次の分数を^{しんぶんすう}真分数、^{かぶんすう}仮分数、^{たいぶんすう}帯分数に分けて、記号で答えましょう。

㍑ $3\frac{12}{14}$ ㍑ $\frac{11}{7}$ ㍑ $\frac{3}{3}$ ㍑ $\frac{5}{9}$ ㍑ $\frac{9}{12}$ ㍑ $\frac{13}{8}$ ㍑ $2\frac{6}{7}$

真分数 () 仮分数 () 帯分数 ()

- ④ 数の大小をくらべて、□の中に^{ふとうごう}不等号を書きましょう。

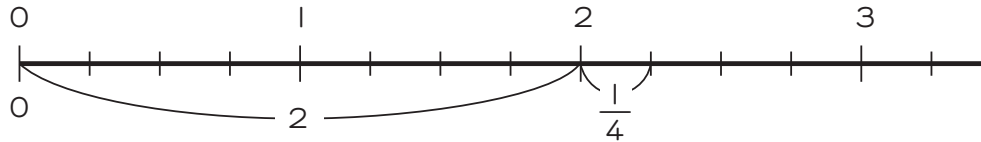
① $\frac{15}{8}$ □ $\frac{13}{8}$ ② $\frac{9}{5}$ □ $\frac{12}{5}$ ③ $3\frac{1}{4}$ □ $2\frac{3}{4}$

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ②

名前

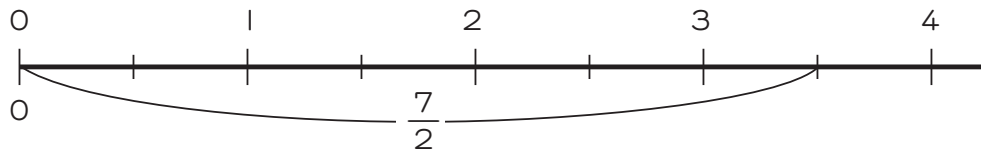
ねらい 帯分数を仮分数で、仮分数を帯分数で表す仕方を理解する。

① 次の□にあてはまる数を書きましょう。

① $2\frac{1}{4}$ を仮分数で表します。

$$4 \times 2 + 1 = \square$$

$$2\frac{1}{4} = \frac{\square}{4}$$

② $\frac{7}{2}$ を帯分数で表します。

$$7 \div 2 = \square \text{ あまり } \square$$

$$\frac{7}{2} = \square \frac{\square}{2}$$

② 次の帯分数を仮分数で表しましょう。

① $1\frac{1}{3} = \square$

② $2\frac{1}{4} = \square$

③ $1\frac{3}{10} = \square$

④ $3\frac{2}{7} = \square$

⑤ $3\frac{4}{5} = \square$

⑥ $8\frac{1}{2} = \square$

③ 次の仮分数を帯分数か整数で表しましょう。

① $\frac{30}{6} = \square$

② $\frac{29}{7} = \square$

③ $\frac{31}{5} = \square$

④ $\frac{49}{8} = \square$

⑤ $\frac{26}{3} = \square$

⑥ $\frac{100}{10} = \square$

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ③

名前

ねらい 仮分数と帯分数の大小比較の仕方を理解する。

- ① $\frac{13}{4}$ と $3\frac{3}{4}$ の大きさをくらべましょう。□にあてはまる数を、
() の中に不等号^{ふとうごう}を書きましょう。

① $3\frac{3}{4}$ を仮分数^{かぶんすう}で表します。

$$4 \times \square + 3 = \square$$

$$3\frac{3}{4} = \frac{\square}{4}$$

$$\frac{13}{4} () \frac{15}{4}$$

② $\frac{13}{4}$ を帯分数^{たい}で表します。

$$13 \div 4 = \square \text{ あまり } \square$$

$$\frac{13}{4} = \square \frac{\square}{4}$$

$$3\frac{1}{4} () 3\frac{3}{4}$$

- ② () にあてはまる不等号を書きましょう。

① $2\frac{5}{6} () \frac{15}{6}$

② $4\frac{5}{8} () \frac{43}{8}$

- ③ () の中の数を、小さい順^{じゅん}に書きましょう。

① $\left(\frac{23}{3}, 4, 2\frac{1}{3}, \frac{14}{3} \right) \rightarrow ()$

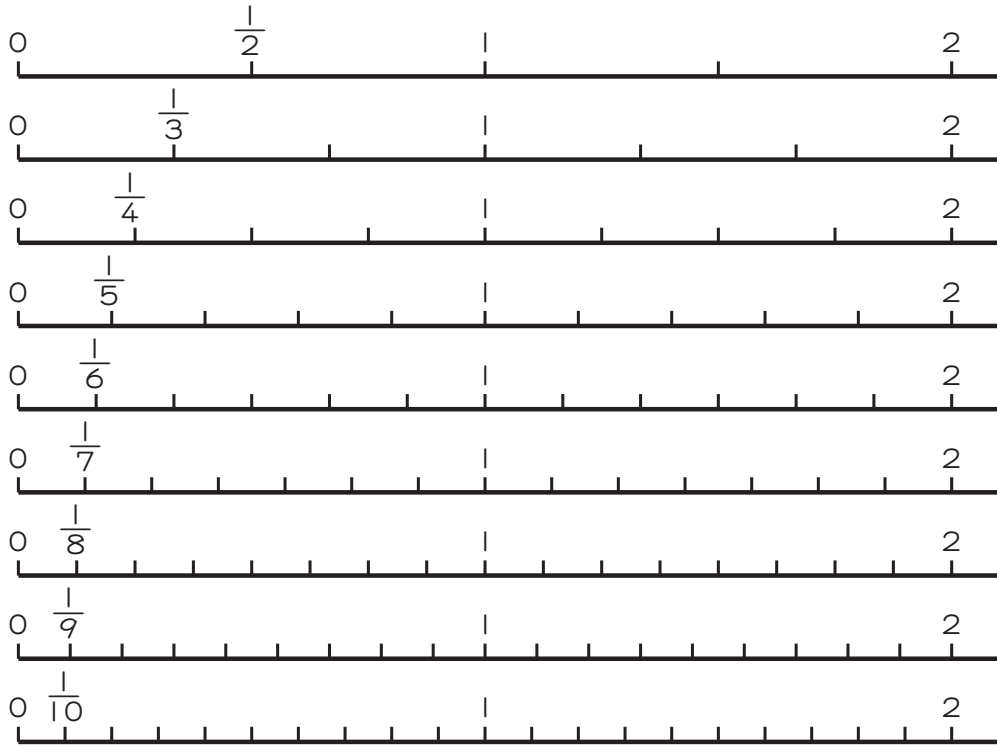
② $\left(3, \frac{21}{8}, 2\frac{7}{8}, \frac{27}{8} \right) \rightarrow ()$

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ④

名前

ねらい 大きさの等しい分数があることを理解する。

□ 下の数直線を見て、大きさの等しい分数を全部見つけましょう。



- ① $\frac{1}{2}$ () ② $\frac{1}{3}$ ()
- ③ $\frac{2}{3}$ () ④ $\frac{1}{4}$ ()
- ⑤ $\frac{3}{4}$ () ⑥ $\frac{1}{5}$ ()
- ⑦ $\frac{2}{5}$ () ⑧ $\frac{6}{10}$ ()

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ⑤

名前

ねらい 同分母の分数の加法の計算の仕方を理解する。

① $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。□にあてはまる数を書きましょう。
 $\frac{9}{8}$ は □ が □ 分 $\frac{11}{8}$ は □ が □ 分

 $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は □ が (□ + □) 分になるから

 $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は □ たいぶんすう
帯分数になおすと □

② 次の計算をしましょう。

① $\frac{7}{8} + \frac{6}{8}$

② $\frac{11}{6} + \frac{5}{6}$

③ $\frac{5}{3} + \frac{11}{3}$

④ $\frac{13}{7} + \frac{10}{7}$

⑤ $\frac{9}{4} + \frac{11}{4}$

⑥ $\frac{13}{5} + \frac{17}{5}$

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ⑥

名前

ねらい 同分母の帯分数の加法の計算の仕方を理解する。

□ $3\frac{1}{6} + 1\frac{4}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 整数と真分数に分けて考える。 ② ^{かぶんすう}仮分数になおして考える。

$$3\frac{1}{6} + 1\frac{4}{6} = \boxed{} \frac{\boxed{}}{6}$$

$$3\frac{1}{6} + 1\frac{4}{6} = \frac{\boxed{}}{6} + \frac{\boxed{}}{6}$$

$$= \frac{\boxed{}}{6}$$

□ 次の計算をしましょう。

① $3\frac{1}{8} + 2\frac{5}{8}$

② $4\frac{2}{9} + \frac{5}{9}$

③ $2\frac{3}{5} + 1\frac{4}{5}$

④ $\frac{6}{7} + 3\frac{5}{7}$

⑤ $2\frac{3}{4} + 1\frac{1}{4}$

⑥ $5\frac{2}{9} + \frac{7}{9}$

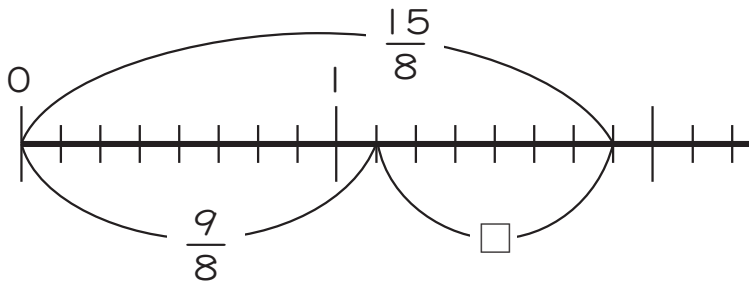
17 分数の大きさとたし算、ひき算 ⑦

名前

ねらい 同分母の分数の減法の計算の仕方を理解する。

① $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。□にあてはまる数を書きましょう。
 $\frac{15}{8}$ は が こ分 $\frac{9}{8}$ は が こ分

 $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は が (-) こ分になるから

 $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は


□にあてはまる数は

② 次の計算をしましょう。

① $\frac{10}{6} - \frac{5}{6}$

② $\frac{6}{4} - \frac{3}{4}$

③ $\frac{12}{7} - \frac{6}{7}$

④ $\frac{19}{8} - \frac{5}{8}$

⑤ $\frac{19}{5} - \frac{7}{5}$

⑥ $\frac{17}{3} - \frac{2}{3}$

17 分数の大きさとたし算、ひき算 ⑧

名前

ねらい 同分母の帯分数の減法の計算の仕方を理解する。

□ $3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10}$ の計算のしかたを考えましょう。□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 整数と仮分数^{かぶんすう}に分けて考える。 ② 仮分数になおして考える。

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = 2\frac{\square}{10} - 2\frac{4}{10}$$

$$= \frac{\square}{10}$$

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = \frac{\square}{10} - \frac{\square}{10}$$

$$= \frac{\square}{10}$$

□ 次の計算をしましょう。

① $3\frac{5}{7} - 2\frac{2}{7}$

② $5\frac{3}{4} - \frac{3}{4}$

③ $4\frac{3}{8} - 2\frac{5}{8}$

④ $3\frac{7}{12} - 2\frac{10}{12}$

⑤ $3 - 1\frac{1}{13}$

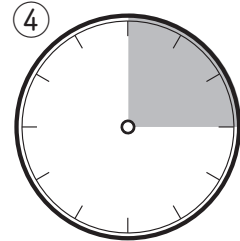
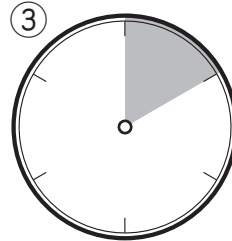
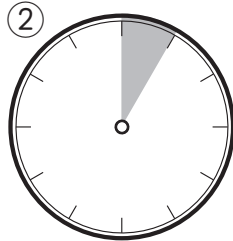
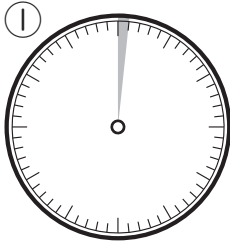
⑥ $10 - 4\frac{5}{6}$

17 学んだことを使おう

名前

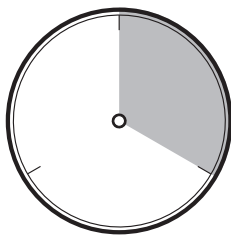
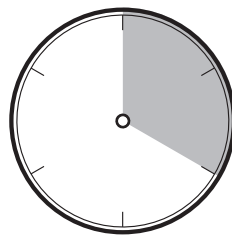
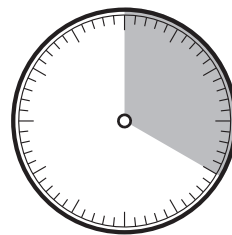
ねらい 時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数について理解を深める。

1 □にあてはまる数を書きましょう。

① 1分 = 時間② 5分 = 時間③ 10分 = 時間④ 15分 = 時間

2 20分間を分数で表すと何時間でしょうか。

下の3つの考え方で表しましょう。

① 20分ごとの
めもりで考える。 時間② 10分ごとの
めもりで考える。 時間③ 1分ごとの
めもりで考える。 時間

★ 算数ワールド 部屋分けパズル

名
前

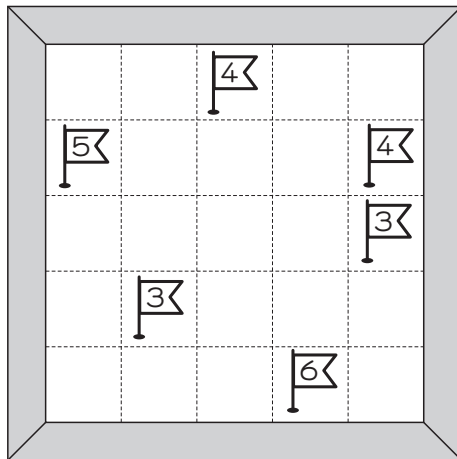
ねらい 1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道立てて考える力を伸ばす。

① 大きな部屋をかべて区切って、小さな部屋に分けましょう。

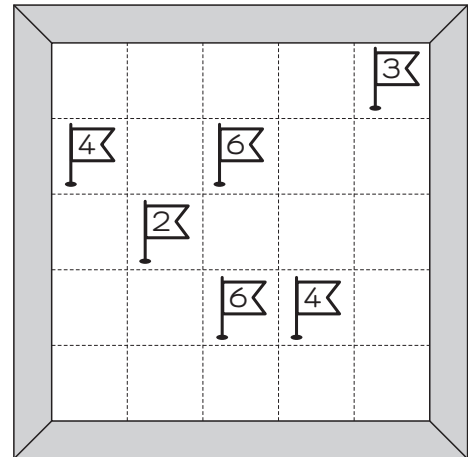
部屋分けパズルのルール

- ① ゆかにある1ますの面積は1m²です。
- ② どの部屋にも $\square$ が1つずつ入ります。
- ③ 旗の数字は、面積を表しています。
 $\square$ の入る部屋は、面積を5m²にします。
- ④ 部屋の形は、長方形か正方形です。
- ⑤ かべは点線のところにしか作れません。

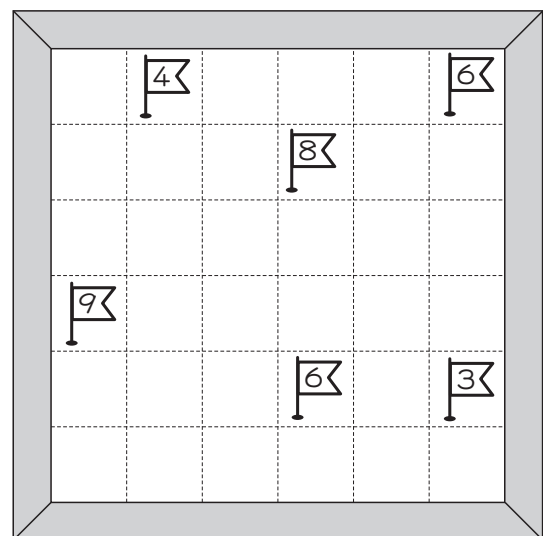
②



①



③



★ 算数を使って考えよう ①

名前

ねらい

グラフを見て、リポーターの話が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。

① 4年生全員に、先週と今週に図書室の本を借りたかどうかを調べました。

① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ (人)

書きましょう。

② 先週本を借りた人と、
今週本を借りた人の差は
何人でしょうか。

()

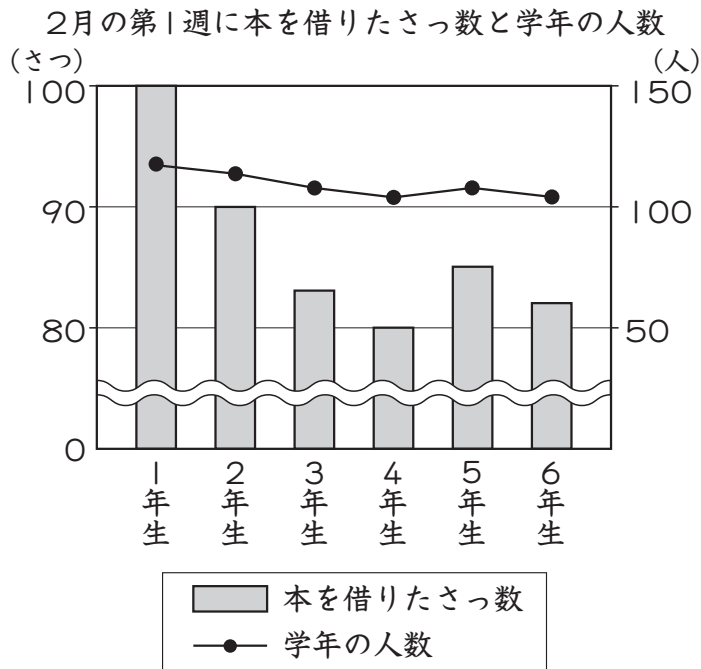
		今週		合計
		借りた	借りていない	
先週	借りた	45	16	①
	借りていない	23	12	②
合計		③	④	96

② 次のように言っている人がいます。

この人が言っていることは、グラフの説明として正しいでしょうか。

下のア、イのどちらかを○でかこみましょう。

また、理由も説明しましょう。



借りたさっ数で比べると
1年生は4年生の3倍で
ある。



ア 正しい イ 正しくない

(理由)

★ 算数を使って考えよう ②

名前

ねらい 廊下について分かっている情報を活用して、廊下の面積の求め方を考え、説明する。

- Ⅰ

けい子さんは、ろうかの^{めんせき}面積を^{もと}求めようとしています。

そこで、面積を求めるのに使えそうなものを書き出してみました。

- ㊤ ろうかの形..... 長方形

㊥ ゆかにはってあるタイルの形..... 正方形

㊦ ろうかのはばにならぶタイルのまい数..... 5まい

㊧ ろうかの長さにならぶタイルのまい数..... 140まい

㊨ ゆかにはってあるタイルの^{いっぺん}1辺の長さ..... 50cm

- ① ろうかのはばは何mでしょうか。

〈式〉

答え

- ② ろうかの長さは何mでしょうか。

〈式〉

答え

- ③ ろうかにはってあるタイルは全部で何まいでしょうか。

〈式〉

答え

- ④ ろうかの面積は何 m^2 になるでしょうか。

〈式〉

答え

★ 4年のまとめ ①

名前

ねらい 数と計算についての問題に取り組む。

① 次の数を数字で書きましょう。

① 十五兆三十億二千万 ()

② 37兆5000億の $\frac{1}{10}$ ()② ^{ししゃごにゅう}四捨五入して、()の中の位までの^{くらい}がい数で表しましょう。

① 29749 (千の位) ()

② 7865432057 (一億の位) ()

③ 次の計算をしましょう。

① $300 \div 25 =$

② $3.9 + 2.75 =$

③ $8 - 0.35 =$

④ $12.5 \times 6 =$

⑤ $17.4 \div 6 =$

⑥ $32.9 \div 14 =$

⑦ $\frac{7}{5} + \frac{4}{5} =$

⑧ $2\frac{1}{5} + 1\frac{3}{5} =$

⑨ $5\frac{2}{9} - 3\frac{4}{9} =$

④ 次の^{たいぶんすう}帯分数を^か仮分数で、仮分数を帯分数か整数で表しましょう。

① $3\frac{3}{4}$ ()

② $\frac{39}{7}$ ()

③ $\frac{63}{9}$ ()

⑤ 赤いリボンの長さは40cmで、白いリボンの長さは50cmです。
赤いリボンの長さは、白いリボンの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

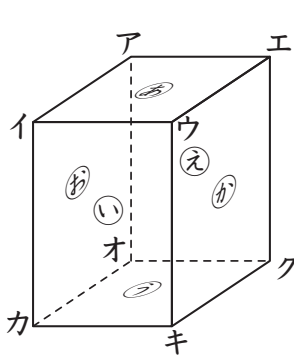
答え

★ 4年のまとめ ②

名前

ねらい 図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。

① 下の直方体について、次の面や辺をすべていいましょう。



① 面①と垂直な面

()

② 辺オカと平行な辺

()

② □にあてはまる数を書きましょう。

① $5\text{km}^2 = \square \text{m}$

② $900\text{m}^2 = \square \text{a}$

③ 1こ40円のおかしを何こか買います。

① おかしの数と代金の^{かんけい}関係を、表に整理しましょう。

おかしの数(こ)	1	2	3	4	5	6	
代金(円)							

② おかしを○こ、代金を△円として、
○と△の関係を式に表しましょう。

()

④ 右の表は、ねこと犬を飼っている人を調べたものです。

表のあいているところに数を書きましょう。

ねこと犬調べ (人)

		犬を飼って		合計
		いる	いない	
ねを飼って	いる	4		
	いない	3	18	
合計			23	